

モニタリング結果報告書 (令和3年度)

1. 施設概要

施設名	スポーツ会館		
所在地	横浜市神奈川区三ツ沢西町3番1号		
サイトURL	http://www.sports-kanagawa.com/works/kaikan.php		
根拠条例	神奈川県立スポーツ会館条例		
設置目的(設置時期)	スポーツ会館の振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため(昭和43年1月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県スポーツ協会		
指定期間	R2.4.1 ~ R7.3.31 (2020年) (2025年)	施設所管課 (事務所)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>	
<p>提案に基づく開館日の拡大やスポーツ教室を通して「スポーツ会館に行ってみよう。」「また、スポーツ会館に行ってみよう。」と思う魅力あるプログラムの提供をする取組を行った結果、利用者の満足度の評価がS評価となった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館したことが影響し、収支状況の評価はB評価、利用状況の評価はC評価であった。しかし、主な理由が臨時休館や新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応であり、令和2年度よりも収支状況及び利用状況が上回っていることから、令和3年度の3項目評価はB評価とした。</p> <p>なお、利用状況がC評価であるため、令和4年度に向けて、ホームページでの掲載等、スポーツ会館の魅力あるプログラムの周知を図っていくとともに、令和4年3月に開設したSNSを活用し、タイムリーな空室情報などの発信や近隣自治会・町内会とも密にした広報を展開していきたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づく開館日の拡大や体育館の一般開放及び多目的室の個人利用の実施、魅力あるスポーツ教室等の開催を通じて、利用者の拡大を図る計画であったが、臨時休館の影響や新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応で事業計画を変更・中止とした。 また、維持管理業務についても、体育館、多目的室、会議室の利用者の怪我や事故防止を図るため、備品等の日常点検を行いベストコンディションを保つことはもちろんのこと、適切な指導やサポートを実施した。利用者が安全かつ安心して利用できる環境整備に注力するなど、常に利用者目線に立った施設運営を行い、事業計画書の内容どおりの取組を実施した。</p> <p>◆利用状況 利用者数は目標達成率37.8%だったためC評価となった。しかし、前年度より開館日数が30日少なかったにもかかわらず2,451人増、対前年度比127.5%であった。 今後も、利用者及び職員の「新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」の更なる徹底と周知を行うことで、安全・安心で気持ちよい施設の利用ができるよう、コロナ禍での利用促進に努めたい。そして、ホームページでの掲載等、スポーツ会館の魅力あるプログラムの周知を図っていくとともに、SNSや近隣自治会・町内会とも密にした広報を行い、利用人数の増加につなげたい。</p>	

◆利用者の満足度
9月と2月に調査予定であったが、9月は臨時休館のため、2月だけの1回の実施となった。アンケート結果は上位2段階の回答割合が95.7%となったため、A評価となった。回収率は、日頃から利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、また、アンケートの協力の呼び掛けに努めた結果、99.2%となった。
◆収支状況
臨時休館の影響や新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応や事業計画の変更・中止により、利用料収入が当初予算より1,707,000円減。しかし、開館日数が30日少なかったにもかかわらず前年度より223,406円増、対前年度比は130.9%であった。今後は、SNSを活用したタイムリーな空室情報などを発信し、各室場の稼働率を上げ、収入につなげたい。なお、支出に関してはより一層の経費節減に努めていきたい。
◆苦情・要望等
アンケート調査等で施設の経年劣化に伴う空調の改善等に関する要望など、指定管理者に起因しない要望が寄せられた。体育備品等の保守管理については、物品管理簿で管理し、職員による点検回数を増やしたり、簡易的な修繕等適切な対応に努めた。
◆事故・不祥事等
日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた結果、事故や大きな怪我は発生しなかった。
◆労働環境の確保に係る取組状況
県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はなかった。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況	利用者の満足度	収支状況	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。 S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
	(項目6参照)	(項目7参照)	(項目8参照)	
B	C	S	B	

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	随時現場確認を実施 (月1回程度)	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	随時意見交換を実施 (月1回程度)	県と指定管理者との間で意見交換を実施し、コロナ禍における施設の管理運営上の課題等を情報共有した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設の維持・管理について	経年劣化による故障・修理の必要な箇所が増えているため、日常の施設点検業務を着実にやり、安全な施設運営に努めた。	引き続き、適切な維持管理に努めてもらいたい。
年末年始、施設点検日（原則月1回）を除く、原則無休による開館日の拡大 ※条例に定める休館日：月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年末年始	施設点検日及び年末年始を除いた日を開館として計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画変更を余儀なくされた。令和3年10月26日から令和4年3月31日まで131日開館。	開館日の変更は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために行った臨時休館によるものであるため、感染症収束後、適切に実施してもらいたい。
体育館の一般開放及び多目的室の個人利用の実施	体育館の一般開放、多目的室の個人利用を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画の中止を余儀なくされた。	計画の中止は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために行った臨時休館によるものであるため、感染症収束後、適切に実施してもらいたい。
外部諸機関との連携	スポーツ教室・体験会を県内競技団体の協力を得て実施した。	引き続き、より多くの利用を図るための取組を実施してもらいたい。
人材育成（職員育成・研修）	利用者サービスの向上に資するため各種研修（新型コロナウイルス対応で実施）を職員各自で実施した。 第1回令和3年6月30日 一般社団法人神奈川県聴覚障害者連盟から「私たちの手話 スポーツ用語辞典」を取り寄せ、職員各自で机上研修を実施した。 第2回令和3年8月6日 神奈川県地域福祉課で発行している「手話を学んでみよう！」を取り寄せ職員全員に配布した。また、神奈川県手話学習動画を各自で視聴した。 第3回令和4年2月3日 神奈川県消防署片倉消防出張所の所長を講師に招き、「AED・CPR並びに避難誘導のやり方（火災時、災害時）及び消火器の使い方」と題して講話と実習を行う予定だったが、まん延防止等重点措置が適用されたのを受け、中止となった。	引き続き、緊急事態への対応ができるよう努めてもらいたい。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
スポーツ教室・体験会の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の教室・体験会を除き中止 硬式卓球 1期中止 2期16名 ラージ卓球 1期中止 2期15名 ヘルシーヨーガ教室 1期中止 2期35名 ヘルシーヨーガ教室(夏期) ナイトヨーガ教室 1期12名 2期中止 ナイトヨーガ教室(夏期) 1期5名 1期4名 太極拳教室 1期中止 2期18名 キッズダンス教室 (未就学児～小学生) 2期中止 1期15名 キッズダンス教室(小学生) 2期中止 1期6名 キッズバスケットボール教室 (未就学児～小学生) 2期中止 1期6名 キッズバスケットボール教室 (小学生) 2期中止 1期18名 親子英語リトミック教室(2クラス) 中止 キッズダンス体験会 (未就学児～小学生) 19名 キッズダンス体験会(小学生) 8名 キッズバスケットボール体験会 (小学生) 16名
生涯スポーツセミナーの開催(自主事業)	救急法講習会 中止
スポーツ指導者等への研修会の開催(自主事業)	トレーナー研修会(オンライン開催) 中止 スポーツ指導者研修会(年2回) 中止
健康体力相談事業(大学連携)の開催(自主事業)	健康体力アップ教室 1期中止 2期15名 ロコモチェック 1期28名 1期中止

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和3年度
利用者数※	36,681	8,901	11,352
対前年度比		24.3%	127.5%
目標値	47,000	47,000	30,000
目標達成率	78.0%	18.9%	37.8%

目標値の設定根拠： 過去数年の間の利用者を参考に算定し決定

利用者数の算出方法（対象）： 団体は利用報告書に人数を記載
個人利用は利用申込書で人数を確認

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】
(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響
スポーツ教室・体験会等の開催や体育館の一般開放、多目的室の個人利用を県の承認を受け計画をしていたが、県からの要請での臨時休館や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業計画の変更や中止を余儀なくされた。そのため、開館日数も当初計画では342日であったが、131日へと変更になり、開館日数は前年度より30日減ったが、利用人数は前年度よりは増加した。しかし、目標達成率は37.8%となった。

②令和3年度の対応状況
令和3年1月12日 臨時休館
令和3年7月15日 新型コロナウイルス感染症拡大状況を見ながら自主事業を再開
令和3年10月26日 各室場利用人数の制限を行い施設利用再開（開館時間を20時～21時に変更）

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年間2回 9月と2月に調査予定であったが、9月は臨時休館のため実施せず。	臨時休館の影響で年間1回しか実施できなかった。また、施設の利用制限等で例年より配布数も少なかった。アンケートの結果は、職員の対応について「とてもよい・よい」が97.5%となった。引き続き利用者とのコミュニケーションを積極的に図っていきたい。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設管理に対する満足度について該当する印象に○をつけてください。

実施した調査の配布方法 窓口での配架・利用者に直接配布 回収数/配布数 119 / 120 = 99.2%

配布(サンプル)対象 スポーツ会館利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	44	67	5	0	116	地下の空調の故障により令和3年1月14日から約1年2か月以上も冷暖房が使用できなかったため、空調に関する意見が数多くあった。
回答率	37.9%	57.8%	4.3%	0.0%		
前年度の回答数	11	56	8	0	75	
前年度回答率	14.7%	74.7%	10.7%			
回答率の対前年度比	258.6%	77.4%	40.4%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	18,593	2,606			21,199	21,199	0	
	決算	18,593	2,340			20,933	23,358	-2,425	89.62%
前年度	当初予算	18,362	2,651			21,013	21,013	0	
	決算	24,946	721			25,667	28,273	-2,606	90.78%
令和3年度	当初予算	18,362	2,651			21,013	21,362	-349	
	決算	18,940	944	462	自販機電気代	20,346	21,688	-1,342	93.81%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和3年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

臨時休館の影響や新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応や事業計画の変更・中止により、利用料収入が当初予算より1,707,000円減。対前年度比は130.9%だが、対前々年度比は40.3%となった。

②令和3年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応として、県との協議により指定管理料(臨時休館費用負担金)が増額(578千円)された。

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。